

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100286		
法人名	株式会社石田福祉サービス		
事業所名	グループホーム愛ランドまめじま		
所在地	長野県長野市大豆島5280-1		
自己評価作成日	令和 6年 1月 10日	評価結果市町村受理日	令和 6年 3月 5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_022_kami=true&jiqyosyoCd=2090100286-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 6年 1月 30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員は認知症になっても、その人らしく暮らしていけるように、パーソンセンタードケアの理念を理解し、ご利用者の立場にになって考え一人ひとりを大切にできる優しさを持っており、新しく入った職員にも自然と優しいケアができるような環境を作ることができる。認知症介護実践者研修を修了している職員も多く、認知症ケア専門士も2名おり、いろいろな視点での意見交換を行い情報共有や統一ケアを行い検討さらに検討を重ね、ご利用者がより安全で安心して暮らせるように支援している。認知症ケアのプロとして自覚を持って日々努力を重ねている。毎月行事を行い季節を感じていただいたり、ゲームや工作なども行うなど、行事担当者が工夫をこらして、ご利用者に楽しんでいただけるように準備し実行している。お昼は外注の食事を提供し、とても喜んでいただいている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長野市大豆島の、近くを長野環状道路・東環状線が走り、周りに数々の商業施設や住宅街が広がり、その中に法人グループの施設群があり、また、その一角に開設から14年を迎えた当ホームがある。「愛」を基本とした「ここは安心できる場所」という理念を支援の基とし、利用者との日々の関わりを大切に、職員が楽しくなければ利用者も楽しくないとの思いを共有し、優しく寄り添い支援に当たっている。平均介護度3.0、要介護度5の方が4名、90歳以上の方が9名という利用状況の中、コロナ禍も長く続き、感染対策を取りながらの活動が続いている。コロナ前のような外出レクリエーションが制約を受けているが、職員は月1回の施設内行事に力を入れ工夫を重ね、ストレスがたまることなく楽しく充実した日々が送れるように取り組んでいる。1月は正月行事として書初めを行い、また、工作で牛乳パックを使い「羽子板」作りに取り組み、出来た作品はホール内に展示して楽しんでいる。3月にはひな祭り紙コップを用い「ひな人形」を制作し、七夕には「七夕飾り」を職員と共に作り楽しい日々を過ごしている。利用者の介護度も上がってきていることから同じことを行うことが難しい時もあるが、全員でできることを模索して月1回の行事を行っている。行事の際には食べることを楽しさも同時に味わえるように企画し、利用者が好きな「お寿司」「サンドウィッチ」「お弁当」などを揃え、土用の丑の日には「鰻」、クリスマスには「ハンバーガー」「海老ピラフ」などをクリスマスプレートにして楽しい時間を過ごしている。更に、毎日の日課として午前のお茶の後は回廊式のホーム内を一人ひとりの力量に合わせて職員と話をしながら2周～10周して体力維持に努め、天気の良い日にはホームの周りの散歩を楽しんでいる。加えて、月1回の行事には必ず工作も同時に行い、見事な作品がホーム内の壁一杯に掲示されており日頃の活動の様子を見ることが出来る。ホールで元気に歌を歌い、かるた取りを楽しむ利用者の姿を見させていただき、第2の我が家としてホームでの生活を楽しく送っていることが窺えた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		